

在台湾学汉语

第二十八届足羽高中汉语短训班

第 1 期
2019. 2. 14
星 期 四

結団式

2月13日(水)4限、2年4組教室にて、生徒の中国語の司会による第28回中国語コース語学研修の結団式が行われました。

山田校長先生からは「これまで習った中国語を駆使し、いろいろな体験を通して、皆さんがひとまわりもふたまわりも成長して帰って来ることを願っています。」との激励のお言葉をいただきました。

次に、団長の青山先生は、「1. 健康安全に気をつける、2. 中国語の力を伸ばす、3. 視野を広げる、4. クラスの絆と台湾の人々との交流を深める、5. 郷に入っては郷に従え」の五点について、中国語と日本語を交え、その熱い語りに研修団一同身が引き締まる思いでした。

続いて、研修団生徒代表の中村 祐斗(なかむら ゆうと)さんが、「現地では、今までの2年間に学んできた中国語を生かして、日本の良さを台湾の人々に伝え、一方で中国文化を吸収していきたいと思っています。また、クラスが一致団結して研修に取り組み、更なる絆を深めてきます。」と力強く語ってくれました。

最後に、JTB 中部の谷口 貴弘(やぐち たかひろ)さんから、出発にあたっての諸注意があり、担任の禿氏先生の話で会が締めくくられました。



出発式

2月14日(木)早朝6時15分、一人の遅刻者もなくバスに集合。出発式が行われました。生徒代表の上坂 唯(うえさか ゆい)さんは「私たち26名は入学してから、毎日習ってきた中国語を本場で精一杯使い、積極的に交流していきたいと思っています。また、中国語を上達させるだけでなく、台北の雰囲気も存分に味わい、実りある研修にする決意です。」と宣言してくれました。早朝にも関わらず、温かく見送ってくださった教頭先生をはじめその他たくさんの先生方や保護者の皆様、本当に有り難うございました。



お世話になる方々



今回、私たちの生活面や授業等サポートして下さるのは台湾師範大学の先生方です。特に、陳冠引(Chén Guànyǐn)先生には、今回皆さんのために、新たな短期留学プログラムを作成していただきました。また、授業の面でも高素卿(Gāo Sùqīng)先生には大学の冬休み中にも関わらず、皆さんの毎日の授業の準備をして下さいました。中国語でも名前を言えるようにしておきましょう。



《生徒の日記より》

歩いている人や、すれ違う人の中国語を聞き取ってみようと思ったけれど、速すぎて全く分かりませんでした。明日からは会話をメモしたり、自分からいろいろ調べたりして積極的に学んでいきたいと思っています。

(宮西 有希奈)